

平成二九年度 第二回 駒澤大学仏教学会

研究発表会の「案内

日時 一月二七日（月） 午後四時二十分より

場所 駒澤大学 中央講堂

〈研究発表〉

徳 護 （大学院博士後期課程）

「覚範恵洪の僧史編纂について — 『石門文字禪』の宝誌・恵寛伝を中心として—」

大澤邦由 （仏教学部専任講師）

「温陵戒環禪師と『楞嚴経要解』について — 泉州開元寺との関係を中心として—」

加納和雄 （仏教学部専任講師）

「異文化間を架橋する媒体としての梵文写本の価値 — インドとチベットの場合—」

山口弘江 （仏教学部准教授）

「天台と三論 — 『維摩経』註釈に対する近年の議論を中心として—」

終了後、駒澤キャンパス学生食堂二階にて懇親会を開催します